

ない。
輸出について石油関係の輸入額の大きさが目立つほかは別段の特徴はない。強いていえば貴石、半貴石等の輸入額であろうが、これは主としてダイヤモンドの原石等の輸入であろう。ダ

イアモンドは最終カットのためインドからベールギーのアントワープに送られることになる。次に、**図2**によって日印貿易の商品構成を見てもみよう。これまでの統計資料はいずれもインド政府または政府機関の資料だったが、**図2**は

(1) **インドの関税水準**
インドは大国であるが、間違いなく途上国である。途上国の一般的特徴として関税率は先進国に比べて高水準にあるが、インドの場合も二

表4 インドの主要商品グループの輸入額の変化

輸入額単位：百万米ドル

区分	商品グループ名	輸入額			比率 (B) / (A)
		2001-02 (A)	2004-05	2007-08 (B)	
1	穀物および穀物調整品	18	26	706	39.2
2	食品および生きた動物	2396	3893	5058	2.1
3	原油および石油製品	14000	29844	79684	5.7
4	肥料	679	1377	5409	8.0
5	真珠、貴石、半貴石	9205	20573	25856	2.8
6	原料および半製品	12114	24795	54432	4.5
7	資本機	10516	25747	71289	6.8
8	雑品	2485	5263	9138	3.7
	計	51413	111517	251562	4.9

出所：Data compiled by the Office of Economic Adviser, Ministry of Commerce & Industry, India

表5 2009年の関税率分布および2007-8年の輸入額に基づく関税収入

(金額単位：1千万ルピー)

関税率 (%) 区分 (2009年4月1日)	税目数	輸入額 (石油を除く) (2007-8年)	2007-8年 輸入に対する関税総額		
			関税総額	基本関税	相殺関税
無税	50	4,808	—	—	—
5.01-10.00	215	52,866	3,593	2,030	1,563
10.01-15.00	1,219	211,312	24,584	17,313	7,270
15.01-20.00	1,993	146,588	25,509	6,561	18,948
20.01-25.00	4,823	232,648	52,053	19,264	32,789
25.01-30.00	16	19,235	4,989	1,590	3,397
30.01-35.00	191	12,810	3,993	2,656	1,338
35.01-40.00	434	1,641	593	459	134
40.01-50.00	146	23,543	11,195	2,656	8,573
50.01-100.00	58	6,071	3,248	2,960	288
100.01-150.00	130	11,156	11,725	11,300	425
150 超	33	208	347	281	67
計	9,308	722,887	141,826	67,035	74,791

出所：Economic Survey 2008-09, Government of India, Ministry of Finance,

注：1. 石油およびハイスピードディーゼルを含まない。

2. 区分5.01-10.00%には4%1税目を含む。

外務省作成の資料で、財務省国税局の貿易統計(二〇〇九年)に基づいている。それによると日本の対印輸入は三十四五億円、対印輸出は五九六億円で日本の出超が明らかである。
インドの対日輸出品の筆頭はガソリンで対日輸出総額のほぼ四分の一を占め、次いで鉄鉱石、化学製品、大豆油かす、ダイヤモンドとなっている。一方、インドの対日輸入の筆頭は一般機械で、対日輸入総額の四分の一を超え、これに電気器械、鉄鋼と続くが、これらの三品目グループで、インドの対日輸入額の六〇%を占めている。インドの対日輸入は、今後も輸送機械を含む機械類が首位の座を維持することになる。

III インドの関税